

ふくしま共創のまちづくり計画

立子山地区

作成：立子山地区まちづくり懇談会
事務局：立子山支所内
電話：(024) 597-2111

地域ビジョン

「人情味のある温かい地域づくりと凍み豆腐など地域の特産物を生かしたまち」

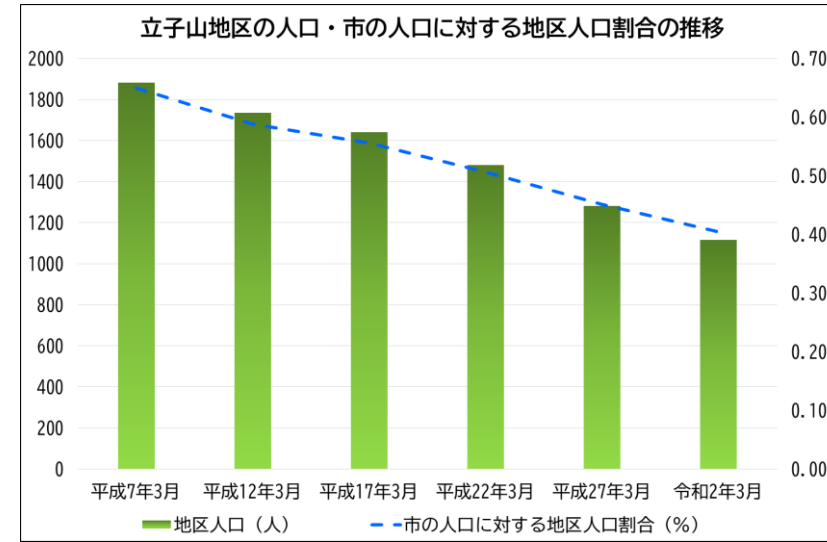
- (1) 自然との共生を図り、地区全域が里山という特徴を生かした四季毎に彩りのあるまち
- (2) 子どもは夢を高齢者は生きがいを持って、いきいきと住み続けられるまち
- (3) 立子山に「来てみたい、住んでみたい」と言われるまち
- (4) 遊休農地の再生による安全安心な農産物の生産と、凍み豆腐など地域の特産物を生かした実り豊かなまち
- (5) 地区の史跡や文化を守り伝えていくまち



【特産物「凍み豆腐」づくり】

地域の個性

- 【位置】本市の東南に位置し、地区のほぼ中央を国道114号が東西に走り、南側を県道大沢・広表線が通っています。地区全体が阿武隈高地につながる起伏の大きい山間地帯で、山あいに宅地や田、畑などの土地利用が行われています。
- 【人口】昭和30年7月に福島市と合併し、当時は約2,800人の人口でしたが、少子高齢化の進行により、令和2年9月末には1,098人まで減少し高齢化率も50.4%と市内で2番目となっています。
- 【自然環境】地区の西側を阿武隈川が流れ、地区全体が里山といってもよいほど風光明媚で自然に恵まれた豊かな地区です。
- 【公共施設】自然豊かな環境の中で、研修や野外活動ができる社会教育館「立子山自然の家」があります。
- 【特産物】本市においては、今より300余年前（江戸時代）が起源といわれる「凍み豆腐」。当地区では、大正時代より冬期間の天日と寒風を利用して製造され、福島県の逸品「凍み豆腐」として販売しています。
- 【名所旧跡】阿武隈川沿いは、阿武隈峡として県指定の名勝及び天然記念物に指定されており、その周辺は、鮎滝渡船場跡（国指定史跡）や鮎滝観音、蓬萊岩が点在し、自然豊かな憩いの場となっています。また、地区内には、由緒ある歴史資源が数多く残されています。（岩之倉文殊尊、村上薬師堂、菅野総次郎翁顕彰碑、一円寺、疣石峠と義民顕彰碑、薬師寺、天正寺、駒込八幡神社、篠葉沢稲荷神社、不忘園、館ノ山の百庚申）
- 【歴史】明治43年、立子山村は、村民一丸となって協力し公益をあげた実績が評価され、全国の「模範村」の一つとし旧内務大臣より表彰を受けました。また、世界的歴史学者 朝河貫一博士が幼少期に過ごしたゆかりの深い地域です。



立子山地区の基礎データ (R2.9末現在)

項目	立子山地区	市全体
面積	14.59km ²	767.72km ²
人口 (人)	1,098 (市全体の0.4%)	275,966
15歳未満	41 3.7%	31,659 11.5%
15~64歳	504 45.9%	161,424 58.5%
65歳以上	553 50.4%	82,883 30.0%
世帯数	465世帯	123,906世帯

地域の取り組みの実績

- (1) 花の里づくり事業
・里山の彩りを創出するため、町会単位で花木などを植栽し、地区の美化・環境整備に努めています。
- (2) 人情味ある温かい地域づくり事業
・ふれあいサロン、いきいきもりん体操や配食サービスなど高齢者の生きがいづくりをサポートしています。
- (3) 安全安心なまちづくり事業
・地域防災力向上のために毎年防災訓練を実施しています。
・交通安全啓発活動や防犯指導活動を実施しています。
- (4) 地域資源を活用した情報発信事業
・地域づくりの活性化のために、まちづくり講演会を実施しました。
・主な名所、旧跡に観光案内板を設置するとともに、後世に残したい立子山の原風景を「立子山の自然・風景写真集」として発刊しました。



【花の里づくり事業】

地域の強みとなる資源

- (1) 特産品「凍み豆腐」
冬期間の天日と寒風を利用して作られる凍み豆腐は、本市を代表する特産品です。
- (2) 豊かな自然と名所・史跡
阿武隈峡の蓬萊岩や松尾山一円寺、太平山天正寺、篠葉沢稲荷神社などの歴史資産が存在します。
- (3) 顕彰
模範村表彰や朝河貫一博士の偉業は、立子山の誇りです。

地域課題

- (1) 安全で安心して住み続けられる生活環境を重視した持続可能な集約型のまちづくり
- (2) 地域生活を支える道路網や河川の整備と減災型のまちづくり
- (3) 少子高齢化の進行に伴う人口減少に対応したUターン・Iターン事業など、積極的な人口増加施策の推進
- (4) 桑畑など遊休農地や耕作放棄地の解消と活用及び担い手の確保
- (5) 阿武隈峡の蓬莱岩などの名所・旧跡の貴重な自然や歴史資料などの保全と有効活用

重点的な取り組み

I 魅力ある地域づくり

【方 針1】 人情味のある温かい地域づくりを推進します。

- (継続) 立子山花の里づくりを引き続き実施し、集落単位で花木などを植栽し、地区の美化、環境整備を進めます。
- (継続) 地区内の空き家、遊休農地の調査を実施し、Uターン・Iターン事業の推進を図ります。
- (継続) 希薄になりつつある隣近所のお付き合いのほか、町内会加入を促進し地域コミュニティ力を高めます。
- (新規) 地域の伝統文化や伝統行事などの継承・活性化を推進します。



【立子山豊年盆踊り大会】



【阿武隈峡の蓬莱岩】

II 地域資源の利活用

【方 針1】 地域資源を見直し、活用することにより、地区の活性化を推進します。

- (継続) 遊休農地を解消し、実り豊かな農地の再生事業を進めるため地域おこし協力隊や集落支援員制度等の導入を検討し、地域産業の活性化を目指します。

- (継続) ホームページ等を活用して、凍み豆腐の紹介など立子山地区の魅力を全国に発信します。
- (継続) 阿武隈峡遊歩道などの自然遊歩道や、館ノ山などの歴史資源の整備を進め、人を呼び込む観光ルートとしての活用を図るとともに、名所・旧跡の保存、情報発信に努めます。
- (新規) 地域の誇りである模範村表彰や朝河貫一博士の偉業を今後の地域づくりに活用できるよう検討します。

III 持続可能な集約型のまちづくり

【方 針1】 安心して住み続けられる生活環境を重視したまちづくりを推進します。

- (継続) 災害に強いまちづくりを推進するため自主防災組織の活性化を図ります。
- (新規) 高齢者が生き生き暮らしていけるよう地域公共交通の導入について検討します。
- (新規) 地域福祉の向上のため関係機関・団体と連携し、地域に即した健康づくりなどを積極的に推進します。

IV 地域産業の活性化

【方 針1】 魅力ある地域産業の創出を推進します。

- (新規) 農業等の地域産業の活性化を図るため担い手の育成・支援等の方策を検討します。
- (新規) 遊休農地等の活用を推進し、地域に定着した新たな産業の創出に向け検討します。